

平成28年度 第1回中央区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【1】開 催

- 1 会 議 名：平成28年度第1回中央区支え合いのまち推進協議会
- 2 日 時：平成28年7月19日（火） 午前10時00分～正午
- 3 場 所：中央保健福祉センター 大会議室（きぼーる11階）
- 4 出 席 者：委員27名中24名出席（付添人を除く）
欠席 3名
事務局 13名
生活支援コーディネーター 2名
傍聴人 0人

【2】次 第

- 1 開 会
- 2 中央区長あいさつ
- 3 新任委員紹介
- 4 議題
 - (1) 「中央区支え合いのまち推進計画」の平成27年度推進状況について
・・・ 資料1
 - (2) 「中央区支え合いのまち推進計画」重点取組項目の平成28年度目標について
・・・ 資料2
 - (3) 各地域における取り組みの視察について 資料3
- 5 その他
- 6 閉 会

【3】議事の要旨及び発言要旨

議題（1）「中央区支え合いのまち推進計画」の平成27年度推進状況について

（事務局）

※資料1について説明

（委員）

各項目の達成状況について、例えば「今年度はこれだけ予想していたが実際はかなり前進があった。」そういうことがあれば報告して頂きたい。

（事務局）

最重点項目ということで「見守り」について取り組んでいくという話があった中で社会福祉協議会が想像していた以上に実施して頂いた状況である。

特に平成27年度、着実に伸びたところは中央東地区部会が全ての自治会（16自治会）で実施して頂いている。これについては実施にあたって地区部会長さん、各自治会会長さんが各調整、協議に時間を費やして頂いた結果だと思っており、とても感謝している。

また特に蘇我地区部会では実際に「冷蔵庫保管用安心カード」について全世帯に配

布して頂いている。今年度についてはさらに自治会に加入していない世帯についても調査を進め、今年度中には安心カードを配ることによって、意欲の向上を図るということで大きく前進したところである。

また、それに合わせ、区の計画の中で防犯・防災対策に対する意識が向上していることから東日本大震災、熊本地震の発生に伴い、各自治会、地区部会ごとで調整し、防災訓練を行う等、防災に意識が高まっているのを感じている。

(委員)

見守り体制の構築のところで、現在地区部会が中心になって何地区かやっているが自治会の方はどうなっているか教えて欲しい。地区部会でやっている大きな母体で出来るが、自治会でやっていくと来年や再来年で見守りの助成金が減らされると噂を聞いているので大きな母体であれば多少助成金を減らされても大丈夫だが自治会単位でやっているとはそうはいかなくなってくると思う。地区部会単位で行えば長続きしていくのではないかな。

(事務局)

地区部会単位で中央区には16地区部会あるが、そのうち14地区部会で見守り活動に取り組んでもらっている。各地区部会に、どれくらいの割合で自治会があるか正確な数字は後程報告させて頂きたい。

(委員長)

資料1の取組項目別達成率の1番をみるとエリア数で重点取組地区が10と答えている。その中でいきいきサロンは3地区だけなのか。テーマとして「いきいきサロン」と「子育てサロン」をまとめて書いていると思うが、ここの書き方の中で主な取組実績としてみたら、実際いきいきサロンは全体で10地区くらいやっていると思う。これは重点地区だけ書いているのか。そこをはっきりさせないと「全体でいきいきサロンは3地区しかやっていないのか」となってしまう。

(事務局)

中央区でいきいきサロンは13地区部会で実施しているが、その中で重点取組項目として挙げているのが3地区となっていることから3地区とさせて頂いている。ただ中央区という見方をしたときに、確かに「3」という表現をすると全体で3地区しか実施していないような捉え方をされる懸念がある為、もし表現の仕方を訂正した方が良いということであれば変えていけたらと思う。

(委員長)

取組実績については重点項目だけに限らず、他にもやっている事があると思うのでそういったところが分かるよう書いた方が良いと思うが、重点地区だけを書かなければいけないのか、それとも別にまとめ方に決まりがあるのか？

(事務局)

これについては平成27年度の第二回推進協議会の表を使用させて頂いているので実績に書いてあるものしかやっていないということにはならない。実績内容の表現については訂正させて頂く。

(委員長)

今後、実績についてまとめて頂くときはその点を配慮して頂ければと思う。

(委員)

比較的に防災について取り組んでいる地区部会が多いと思うが、色んな防災活動がある中で地域の中でいつ、どのように広報するのか、広報の仕方があれば教えて頂きたい。

(事務局)

防災の取組としては避難支援ということを考えている。災害時に避難を必要とされる要支援者の保護の仕方や周知の仕方になると各地区部会の方から自治会を通じて回覧等を流し、いつどこで防災訓練を行うかを周知している。実際に災害が起きた際に連絡を回して「ここに集まって下さい。」ということは難しい為、訓練の中で災害時はどこに集まるかを決めている。

(委員)

訓練の時の伝達方法については具体的にどのようなになっているのか。例えば聴覚障害を持つ人にはメールで連絡するとか、こういう連絡方法で必ず取るというのがあれば教えて欲しい。

(事務局)

必ず何種類かの連絡方法を取るという議論は申し訳ないが出来ていない。基本的には口頭での伝達方法が中心となると思うが、災害時に避難が出来ないということにならないよう、また災害情報がきちんと伝わるように内容を抽出していかなければと思う。これは課題だと思っている。

(委員)

いくつかの地区で民生委員が伝えるとあったが聴覚障害を持つ方や手話通訳の方から民生委員と会話が通じない、普段からコミュニケーションを取れていないとの話をよく聞く。民生員に対して、そういった方々に対してはこういう形で話をして下さいとか決まっていることはあるのか。

(事務局)

民生員については月1回会議を開いているが、その場では話が出来ていない。これについては今後改善を図り、要支援者がスムーズに避難出来るように方法を考えていければと思っている。

(委員)

最後に防災に関して今後の取組について自治会と地区部会の連携が取れていないという地区がいくつかあったが、こういう場合、災害時にとても危険が伴うと思う。そのせいで支援が必要なのに把握されていない人達がいた場合どうなるのかという点について今後の取組みをどのように考えているか教えて欲しい。

(事務局)

千葉市においても防災計画が出来上がってきている。まずは自治会で避難所に避難すると思うが災害の規模や時間帯によってはその自治会レベルで対応出来ない状況が発生することが予想されている。そういう場合については各自治会のコーディネーター役を地区部会が担うことになっているが具体的に地区部会にどういったことをしてもらおうかということはまだ伝えてられていない。このことについては市の防災計画との整合性を踏まえて対応していきたい。

(委員)

この9つある取組テーマはほとんどの地区部会やっていると思う。やりながら、そ

の中でも重点取組項目を各地区部会で挙げる為、それぞれの地区部会では会議を開いている。全体場で「これしかやってないのか。他の地区部会ではやっている。」と言われるのであれば、重点取組項目以外を網羅しながら重点取組項目は重点取組項目でまとめて、掘り下げてやっていった方が地区部会の取組の様子が分かると思う。

実績のまとめ方については一考して頂きたい。

(事務局)

全体像がきちんと分かるよう表現を訂正していきたいと思う。

議題（２）「中央区支え合いのまち推進計画」重点取組項目の平成 28 年度目標について

(事務局)

※資料 2 について説明

(委員)

先程も申し上げたようにヒアリングするということで何度か打ち合わせをしたと思うが、その際に 28 年度は 27 年度を踏襲すると聞いて、それでも構わないと思った。しかし前年度を踏襲する場合、同じ目標が記入されていれば良いが空欄になるというのは聞いていない。どういう形で松ヶ丘をまとめたのか。この前も打ち合わせをしたと思うが。

(事務局)

表で空欄になっているところは、目標の変更の有無のチェック欄を設け、28 年度の変更があった地区部会はその項目を記入してもらう。変更なしでチェックされたところは改めて記入はせずに空欄とさせて頂いた。説明が不足した事については申し訳ない。

(委員長)

目標の変更の有無について、目標に変更がないところでもしっかり記入してある地区部会があるので記入方法は統一しても良いと思う。

これはあくまで重点取組項目のみの話なので、それ以外にもやっていかないといけない事はあると思う。それについては実績をまとめる時に、「せっかく他の事をこれだけやっているのに何も書かれていない」という事が無いように、まとめ方については配慮して欲しいと思う。

議題（３）各地域における取り組みの視察について

(事務局)

※資料 3 について説明

(委員長)

資料の 3 番目の取組の候補の選定で（１）は 6 項目と（２）は 2 項目とそれぞれ分かれているが、何か意図があるのか。

(事務局)

（１）についてはどちらかと言えば福祉の面で（２）については防災の面ということで分けさせてもらっている。

(委員長)

見学先について具体的に何か所選べば良いのか。

(事務局)

試みということもあって何か所に行かなければいけないという決まりはないが第1希望から第3希望まで検討して頂き、その中で事務局が見学先を調整させて頂く。

(委員)

希望先は必ず複数あげなければいけないのか。

(事務局)

必ずしも複数あげなければいけないという訳ではない。見学先については項目ごとに選定して頂きたい。

(委員長)

具体的に「ここの地区部会のこの取組を見たい。」というのは出来ないのか。

(事務局)

項目を選んで、その項目に取り組んでいる地区部会を視察するのを想定している。

(委員長)

視察先は分かれたグループ内の地区部会を選定するのか。それとも別のグループの地区部会を選ばなければいけないのか。

(事務局)

出来ればグループ内で選んで欲しいが、今回はまだ試みなので、柔軟に対応したい。

(委員)

別グループの取組を視察することになると統制が取れなくなってしまうのでまずは各グループ内で視察先を決めた方が良いのではないかな。

(事務局)

各グループ内で実施して頂いた方が助かるが視察を受け入れて頂く地区部会にとって視察の機会がなくなってしまう形になる。

(委員：松ヶ丘地区部会)

最初から全部は出来ない。1回目から全部やろうとする必要はない。

(委員長)

意見は色々あると思うので、これからグループを3つ(A,B,C)に分けた後、議論をして頂ければと思う。

その他

(事務局)

次回、第2回推進協の日程については11月下旬を予定しているが各地域における取組の視察の日程を踏まえ決定させて頂き、後日連絡させて頂く。

以 上